

シャルトル

ノートルダム大聖堂

大聖堂は「石の聖書」と呼ばれますが、シャルトルのノートルダム大聖堂は、建築、ステンドグラスそして彫像の全ての観点より、まさに至高芸術です。キリスト教文化の重要な地であり、1979年にユ

重要な年代：

- * 4世紀：考古学的物証は存在しないが、この時代にガローロマン様式の初代の大聖堂が建立されたと推定されている。
- * 6世紀：メロヴィング朝期の大聖堂の建立。内陣の地下に遺構。
- * 8世紀：743年、アキテーヌ公ユナルドにより大聖堂が破壊される。同位置に新しい大聖堂が建立される。
- * 9世紀：858年にバイキングの襲撃により火災に遭い、地下礼拝堂（聖リュバンの礼拝堂と呼ばれる）をもったカロリング朝様式の大聖堂を再建。
- * 1020年：この年の火事後に、司教フルベールがロマネスク様式の大聖堂建立に着手する。ヨーロッパで最も権威ある教会建築の一つで、現在でもその一部が220mの長さをもつ地下礼拝堂として残っている。（フランスで最大規模）
- * 1194年：6月10日、大火事によりロマネスク様式の大聖堂が損壊。その後約30年という短期間で再建される。ゴシック様式で再建された現在の大聖堂は、多くが12世紀、13世紀に制作された176枚のステンドグラスを現在に伝え、9つの中世の彫刻ポルタイユを構えている。

* 1260：大聖堂献堂式

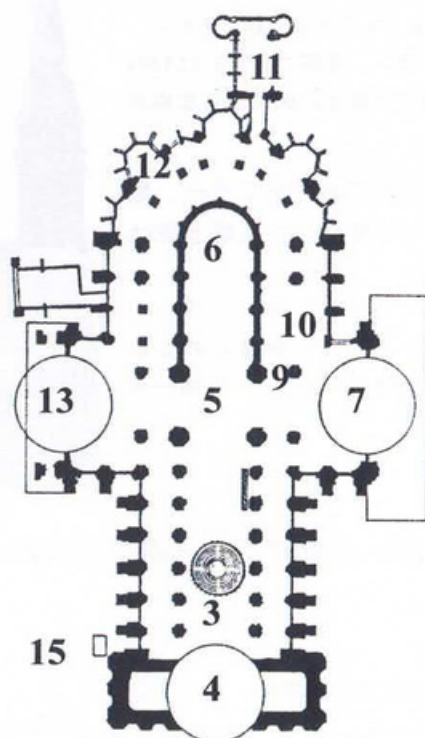
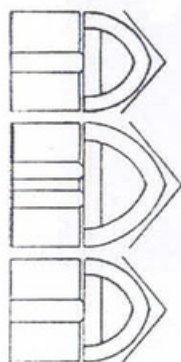


シャルトル大聖堂の紹介：

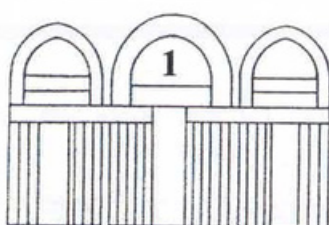
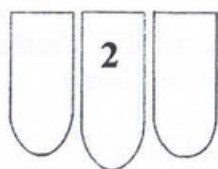
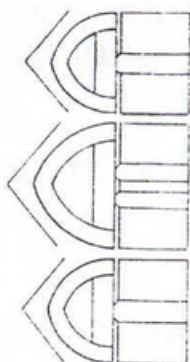
1. ロイヤル・ポルタイユ、12世紀中葉に建設
シャルトル学派(大学)の影響が明瞭
 - 中央、威厳に満ちたキリスト、黙示録
 - 右、キリスト降誕
 - 左、キリスト昇天柱の彫像は典型的なロマネスク様式
2. 3枚のステンドグラス(12世紀中葉)、大聖堂で最古、キリスト教の根本的教義を集約。右から左へ：
 - エッサイの樹（キリストの系図）.
 - イエス・キリストの生涯.
 - キリストの受難と復活.
3. ラビリンス（迷宮）、地上の世界から神へと導く道をシンボル化。
4. 西薔薇窓、最後の審判を表現。1215年頃制作、直径 12.18 m。
5. 主祭壇、1992-1994年に彫刻家、金銀細工師グージ(Goudji)氏により制作。
6. 内陣の奥、18世紀制作の聖母マリア被昇天像。
7. 南薔薇窓、黙示録を表現。制作、1225年頃、直径 10.56 m。
8. 南ポルタイユ（13世紀初期）、中央、使徒に囲まれた祝福を与えるキリストが神のみ言葉の本を持っている。上部は、最後の審判。
9. 内陣仕切壁（16-18世紀）、聖母マリアとキリストの生涯を南から北方向へ物語る。
10. 美しきガラスの聖母ステンドグラス、12世紀制作、世界的に著名。
11. 聖ピアのチャペル、1340年頃建設。内陣の装飾仕切りを保存。
12. «聖母マリアのチャペル」、876年に禿頭王カール二世より献納された「マリアのベール」と呼ばれる聖遺物を保管、展示。
13. 北薔薇窓、1235年頃制作、ユダの諸王（四角形内）と預言者達（半円形内）、直径10.15 m。
14. 北ポルタイユ（13世紀初頭）聖書の重要人物メルキゼデクから聖ペテロまで。中央、マリアを抱く聖アンナ。

N
7

14



8

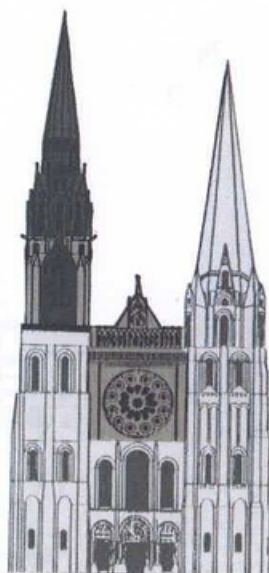


大聖堂の全長 (奥行) :
身廊の幅 :
アーチ天井の高さ :

130, 20 m
16, 40 m
37, 50 m

シャルトルノートルダム大聖堂 西正面：

-  尖塔（高、103 m）、ロイヤル・ポルタイユ、
3つのステンドグラス、北塔（下部）は1194
年のロマネスク様式大聖堂の火災からまぬが
-  西薔薇窓、フランス王のギャラリー、聖
母のペジメント（切妻壁）、北塔上部は
13世紀初期に建設。
-  フランボワイヤン・ゴシック様式の尖塔
（高、115 m）16世紀初頭、ジャン・ド・ボース



フランス語で毎日の巡礼訪問

- 地下礼拝堂 : 14 h 00.
- 大聖堂 : 15 h 00

宗教行事中は、ガイド案内は行われません。

グループ向けガイド案内は下記サービスまでご連絡下さい：



Service Accueil – Visites

24, Cloître Notre-Dame

28000 Chartres

Tél. : 02 37 21 75 02

Email : visites.cathedrale@diocesechartres.fr

Web Site : www.cathedrale-chartres.org

フランス語、英語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、
日本語

- ミサ、巡礼催行は下記までご連絡下さい：

Secrétariat du Rectorat（大聖堂事務局）：

Tél. 02 37 21 59 08